※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１９

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（東京書籍）						
副教材等	神龍半印本で学ぶ手本蘭亭序（教育図書） ペン字のこころ（日本書写教育研究会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写で学んだことを発展させ、芸術科書道では用具用材の違いや用筆の違いで、様々な表現ができることを学びます。
・漢字の書体五書体や日本特有の仮名について理解し、表現する中で、自分のリズムで書く楽しさを経験しましょう。
・身近な作品を作り、様々な書作品に触れることから、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広くかかわる資質・能力を育成することを目指す。
(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
(2) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な能力を身につけるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想したり表現を工夫したり、作品や所の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習内容に応じて各観点を適切に配分し、評価します。学習のまとまりごとに各観点別に評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A,B,C の３段階）にまとめます。学年末に観点別学習状況の評価（A,B,C の３段階）及び５段階の評定にまとめます。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	書写から書道へ	書写で学んできたこと	a: 配列の基本について考える。 b: 楷書漢字と仮名の調和について表現する。 c:字形を整えその仕組みについて自分の文字を鑑みる	提出作品	ポートフォリオ 提出作品	レポート
	漢字の書　楷書	古典に基づく学習 「楷書」	a:「九成宮醴泉銘」と「孔子廟堂碑」を比較し、起筆や送筆、結構の取り方の違いを理解する b:「九成宮醴泉銘」と「孔子廟堂碑」を比較し、起筆や送筆、結構の取り方の違いを表現する c:楷書臨書作品を相互鑑賞し、他者の作品の良さを理解し、自分の作品を顧みる。	提出作品	ポートフォリオ 提出作品	レポート 学習態度の観察
	篆刻	創作 落款印を刻す	a: 篆刻の用具・用材や落款印の手順について理解する。 b: 自分の落款印を刻す c:篆刻が使われる場面を理解し、活用しようとする	提出作品	ポートフォリオ 提出作品	レポート 学習態度の観察
	漢字の書　行書	古典に基づく学習 「行書」	a:「蘭亭序」「争座位文稿」「風信帖」の概要を理解し、表現の特徴を手掛かりとして臨書する。 b:行書の用筆、運筆、字形の取り方について理解し、表現する C:行書臨書作品を相互鑑賞し、他者の作品の良さを理解し、自分の作品を顧みる。	提出作品	ポートフォリオ 提出作品	レポート 学習態度の観察

※令和４年度以降入学生用

後期	漢字仮名交じりの書	創作―言葉と書を調和させよう 生活に広げる	a:漢字と仮名の大きさや配列など、紙面の構成を工夫する。 b: 創作の手順に従い、表現の工夫で学んだ技法を生かして、身近なカレンダーを書く c:書き方の工夫によって表現に変化をつけ、自分の意図に合うかどうか考える	提出作品	ポートフォリオ 提出作品	レポート 学習態度の観察
	仮名の書	仮名の創作 百人一首を題材にする 「高野切第三種」「蓬莱切」「関戸本古今和歌集」など平安時代の古典を学ぶ	a:仮名の用具・用材の特徴について理解する b:「高野切第三種」を基に、百人一首を平安時代の仮名の特徴を生かし、表現する c:日本特有の仮名の歴史や古典を理解する	ポートフォリオ 提出作品	提出作品	レポート
		鑑賞 高校展の鑑賞	a:鑑賞の言葉を広げ、書の表現の特徴を的確に言葉にする b:書全体から受ける印象について思考し適切な言葉を判断し表現する C:他者の作品を鑑賞することで、視野を広げ、書的感性を高め、自分の作品に生かそうとする。	鑑賞カード	鑑賞カード	レポート 相互鑑賞

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度